ヨコスカミ」キシ

横須賀信用金庫のご案内

新体店





ごあいざつ

横須賀信用金庫は大正13年3月、打続く不況と大震災で疲弊しきった横須賀市の復興と中小商工業者の金融の円滑を図るため、有限責任横須賀信用組合として、横須賀市に孤々の声をあげ、昭和26年6月信用金庫法の公布施行に伴い同年10月信用金庫と組織を変更し、爾来50年中小企業者、勤労者の専門金融機関として、地域社会の発展に大きな役割を果たしてきました。

昭和37年に横浜市に営業地域を拡張し、昭和43年には日本銀行と取引を開始、 現在、店舗数は横須賀市内6カ店、横浜市に4カ店と計10店(伊勢佐木町支店 は建設中)を数え、預金量も500億円を突破するなど、日本経済の高度成長を背 景にめざましい発展を遂げ、過去幾多の厳しい金融環境の変化に対応しながら、 ここに地域金融機関として確固たる経営基盤を確立するに至りました。

これもひとへに会員並びに取引先のみなさま方の暖かいご支援の賜と深く感謝申しあげる次第でございます。

また、昭和47年12月には業務の多様化、省力化への対処と金融機能サービスの拡大をはかるため、コンピューターを導入すると共に、税務、財務、法律及び不動産等の経営相談室を開設いたしましたが、今後とも地域のみなさま方の生活の向上並びに企業の発展に資するため、より一層サービス機能体制の強化をはかっていきたいと存じております。

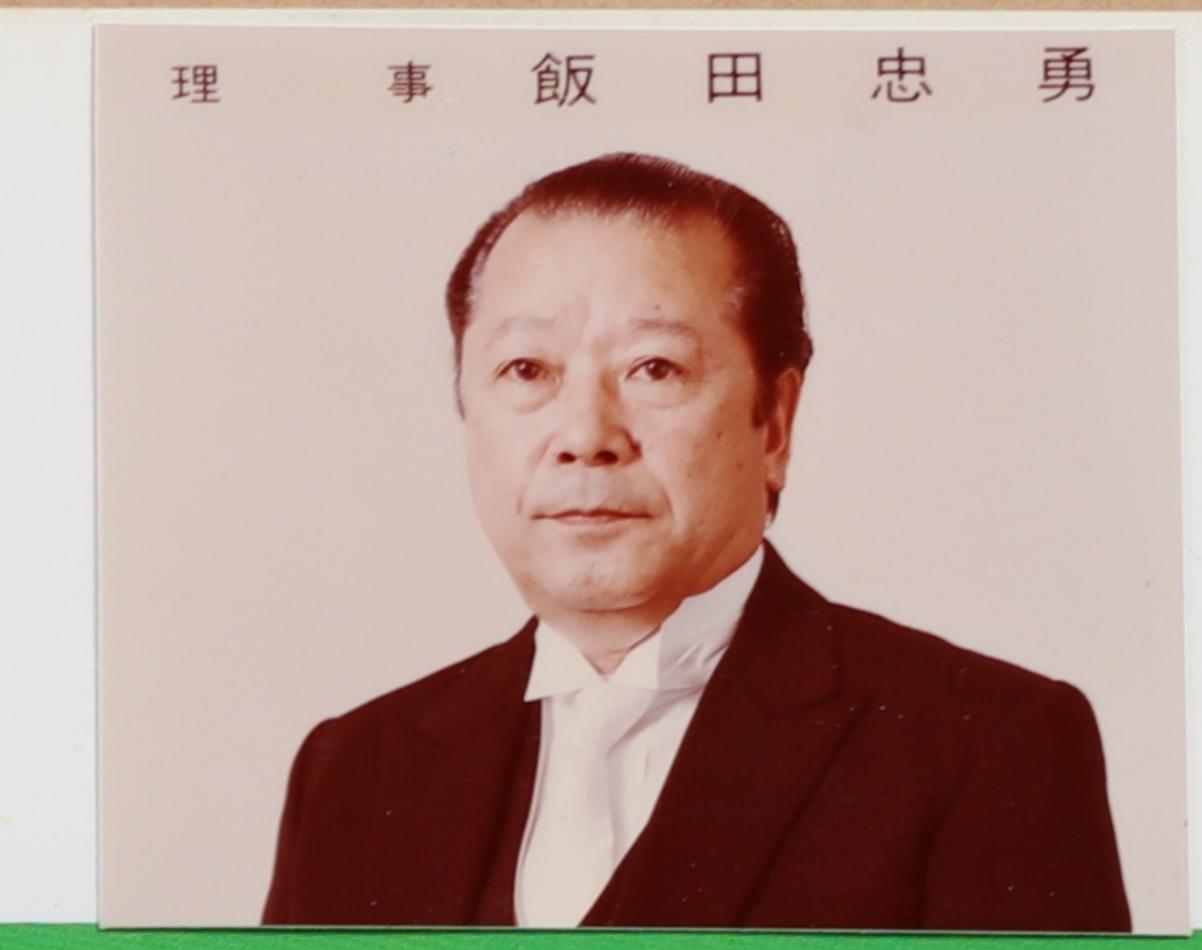
なお、創業50周年記念の一環として同年、現在地に顧客本位の近代的な設備と機能を備えた地下1階地上9階建の新本店の完成をみましたが、更に飛躍への礎とすべく役職員一同決意を新たにしております。

1970年代は激動の年代といわれているように、わが国の産業、金融構造も大きく変貌していくものと思われますが、私共はこのような環境の変化に柔軟に対応できる経営体制の確立に努め、今後、内外の金融経済情勢がどのように展開するにせよ、地域に密着しながら発展してきた金融機関として、その実績を十分生かし、中小企業の健全な発展、国民大衆のゆたかな生活の向上、及び地域開発の促進という使命の達成に向かって全力をあげ努力致す所存であります。

なにとぞ、みなさまのヨコシンとして末長く格別なご愛顧を賜わりますよう 謹んでお願い申しあげます。

昭和48年4月

理事長有精養



監 事 那 須 川 之 和



常勤理事











監 事 辻 井 信 吉

是多

大正 13 年 有限責任横須賀信用組合として発足(3月)、払込済出資金35,590円、組合員数505名、組合長今井市兵衛

昭 和 26 年 田浦信用組合と合併、田浦支店となる(3月)、信用金庫法の施行に併ない組織変更を行ない横須賀信用金庫となる、柴崎彦造氏理事長就任(初代10月)

昭和27年~33年 衣笠支店開設(27年2月)、追浜支店開設(28年7月)に次いで久里浜支店開設(33年6月)

昭和37年~40年 営業地区を横浜市に拡張(37年10月)、武山支店開設(38年5月)に次いで磯子支店開設(40年8月)

昭和41年~43年 吉井市蔵氏理事長就任(2代·5月)、預金量100億円達成(41年8月) 金沢支店開設(43年11月)、日本銀行取引開始(43年12月)

昭和44年~45年 日本銀行歳入代理店(44年11月)に次いで国債代理店となる(昭和45年4月)、保土ケ谷支店開設(45年10月)

昭 和 46 年 吉井勝重氏理事長就任(3代·1月)、本店新築工事着工(9月) 預金量 300 億円達成(7月)

昭 和 47 年 預金量 400 億円達成 (8月) 新本店新築落成12月 1 日披露、12月 4 日開店営業開始

昭和48年預金量500億円達成(3月)、オンライン開始(8月)、両替商業務開始(11月)、預金量600億円達成(12月)

昭 和 49 年 全店オンライン稼動(1月)、横浜市(緑区)、川崎市(川崎区、中原区、幸区)に地区拡張内認可(3月)、 伊勢佐木町支店開設(5月)

大金庫·貸金庫











各種ローンご案内

ローン名	ご融資額	使	全
住宅ローン	2,000万円まで	自宅の新増改築(購入)及び土地購	
フリー住宅ローン	3,000万円まで	別荘・アパート・店舗併用住宅の 及び土地購入資金	の新増改築
提携住宅ローン	提携先:京急・積水ハウス・大和土地建物・大和ハウス・東芝・ ナショナル・日本信販等		
ヤングローン	3 0万円まで	自由	
サラリーマンローン	300万円まで	自由	
預金担保ローン	安いお利息でご自由にお使いください。		
電 化ローン 自 動 車ローン ミュージックローン	信頼ある会社と提携を結びゆたかなくらしのお手伝いをしております。		

相談コーナーご案内

税務・財務・法律・不動産評価・不動産鑑定・建築法規等 専門家の先生がご相談に応じます。



2 代目理事長 会長吉井市蔵



初代理事長 故柴崎彦造



私は当金庫が組合といった当初から永年共にあゆんでました。高度経済成長政策等による日本経済の飛躍的な進展 いりましたので金庫に関する思い出話は語り尽せない程多 く持っております。

大正12年の関東大震災で横須賀も大被害を受け、加えて 打ち続く不況で市全体が疲弊し切っておりました。

翌年の大正13年3月2日、大滝町9番地に於て当時の横 須賀市の有力な政界・財界の有志が中心になり、有限責任 横須賀信用組合として発足いたし、払込済出資金35,590円、 組合員数505名、預金量879円が開店当時(3月10日)の実 績であります。

その後、幾多の苦難の途は続き、皆それぞれ去って行き まして、最後まで残ったのが故柴崎彦造氏(初代理事長)と 先代故小佐野皆吉氏(現商工会議所会頭の尊父)と私の三 人でした。満州事変、支那事変、大東亜戦争そして終戦と 時代はうつり、昭和26年信用金庫法の制定により信用金庫 への組織変更を行い故柴崎氏が初代理事長に就任いたしま

とともに当金庫も躍進又躍進の一途をたどり預金量も 500 億円を突破し、今日この立派な新本店を築きあげるまでの 輝しい業績をつくりあげたのです。

初代理事長としてなみなみならぬ功績を残された柴崎氏 も昭和43年9月逝去され、昭和43年5月あとをついで理事 長に就任した私も昭和45年12月に引退し、昭和46年1月に 現理事長に金庫経営を引きつぎました。

1970年代は激動の時代といわれ、毎日毎日が変化にあけ くれておりまして、金庫を取りまく経営環境も一段と厳し さを加えておりますが、金庫の役員陣も一挙に若返り、新 しい経営感覚をもってこの激動の時代に対処いたすべく努 力いたしております。

お取引先はじめ皆さまにおかれましてはこの地元に生ま れ、地元とともに歩む横須賀信用金庫をよき友人、隣人と して末永く御愛顧賜わりますよう御願い申し上げます。

厚生(職員食堂·女子更衣室)





本店職員食堂

独身寮

保養所

湯河原寮

クラブ活動

テニス部、卓球部、ワンダーフォーゲル部、 野球部、釣部、音楽部、写真部、囲碁将棋 部、茶道部、華道部。

本部 (総務部室・コンピューター室)





本部概要

総務部

業務部

検査部

事務センター

役員室(理事長室·役員会議室)





大武一儿





